

令和3年度の森林環境譲与税の使途（地域林政アドバイザー設置事業）

- ▶ 市町は従来の業務に加えて、新たに森林経営管理制度や森林環境譲与税を活用した森林整備等の活動を行っていく必要があります。
- ▶ 一方で、市町職員には林業の専門知識を有する者が少なく、かつ他分野を兼務していることも少なくないことから、林業経営に関する専門知識と経験をもって市町の活動を支援する必要があります。
- ▶ そこで、森林・林業に関する専門知識と経験を有する地域林政アドバイザーを設置し、市町が行う森林整備等の円滑な実施を推進します。
- ▶ 令和3年度の成果として、
 - 令和3年度までに県内20市町のうち18市町で意向調査を実施し、また9市町では森林整備を実施することができました。
 - また、森林環境譲与税の活用促進に向けて、「担い手の確保・育成」のテーマで、地域の市町、森林組合、アドバイザー、県現地機関を交えて、意見交換や対策案のアイデア出し等を行いました。

事業内容

地域林政アドバイザー設置事業

佐賀県森林組合連合会に地域林政アドバイザーを設置し、市町に対して以下のとおり支援を実施

- 森林経営管理制度、森林環境譲与税事業等の運営支援
- 森林整備を実施するための技術的支援
- 県内外からの情報収集、市町等への情報提供 など

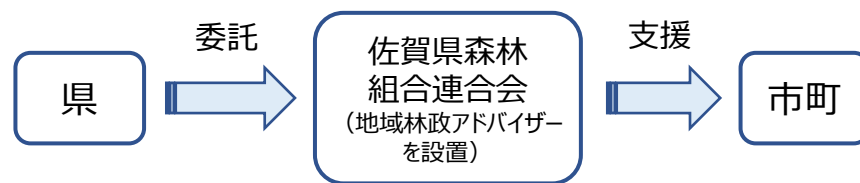
【事業費】

9,560千円（全額譲与税）

【実績】

- 県内全20市町に対して支援活動を実施しました。

事業スキーム



（担い手確保等についてアイデア出し）



（森林経営管理制度の進捗支援）

令和3年度の森林環境譲与税の使途（林業経営体育成事業）

- 森林経営管理制度の実施により、従来の森林整備に加えて、これまで手入れが行われなかった森林の整備等が促進されることが期待される中で、本制度に基づく森林整備の担い手となりうる林業経営体の人材育成が求められます。
- そこで、林業経営体の現場技能者や事務職員を対象とした研修を開催し、安全で効率的な森林整備を推進します。
- 令和3年度の成果として、
 - 林業経営体の現場技能者7名を対象に、伐木高度技術や高性能林業機械等の安全で効率的な操作方法に関する研修を実施しました。
 - 林業経営体の事務職員等14名を対象に、労働安全対策(リスクアセスメント)等に関する研修を実施しました。
- 令和4年度においては、研修カリキュラムの見直しを行い、更に技術等の向上を進めていくこととしています。

□ 事業内容

林業経営体育成事業

林業経営体の現場技能者、事務職員等を対象に各種研修を実施

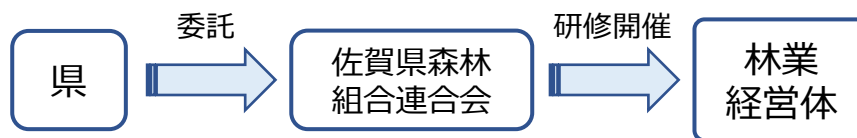
【事業費】

3,382千円（全額譲与税）

【実績】

- 伐木等高度技術研修
1回開催し、現場技能者3名受講
- 高性能林業機械安全操作研修
1回開催し、現場技能者4名受講
- 労働安全衛生管理研修
2回開催し、事務職員等14名受講

□ 事業スキーム



（伐木等高度技術研修）



（高性能林業機械安全操作研修）

令和3年度の森林環境譲与税の使途（県産木材を使用した木塀の設置補助）

- 県産木材を使用した住宅や公共的施設の木造化等を推進するとともに、木の良さを県民に広く伝え、県産木材の利用拡大を推進します。また、県民に身近で目に留まる場所に県産木材を使うことで、「県産木材の良さ」、「山の大切さ」などの理解を醸成します。
- 保育所の園庭などの身近な場所に「木のある風景」を創出することで、「木育」に貢献し、また、サステナブル（持続可能）な資源である木材を活用する仕組みを作ることで、SDG s の目標達成にも貢献します。
- そこで、本事業では、県産木材を使用した木塀の設置に対して補助を行いました。
- 令和3年度は延長239.6m（6箇所）に対して補助を行いました。
- 令和4年度は延長200mに対する補助を予定しています。

事業内容

ふるさと木材利用拡大推進事業（木塀の整備）

民間で整備する建築物等に木塀を設置する場合に、経費の一部を支援

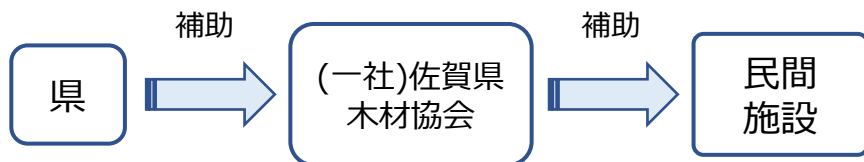
【事業費】

10,712千円（うち、譲与税10,000千円）

【実績】

- ・ 木塀の設置延長 239.6m（6箇所）
（幼稚園、製材所など）

事業スキーム



（幼稚園）



（幼稚園）

令和3年度の森林環境譲与税の使途（林業機械導入への支援）

- 県産木材の価格が上昇し、本県林業にとって追い風となりうるこの機を捉え、林業事業体の生産基盤の整備などを行い、林業の再生につなげていく必要があるため、機械化を支援し、木材の伐採・搬出作業の効率化を推進します。
- 令和3年度には、5つの林業事業体に対し、林業機械の導入への支援を行いました。
- 令和4年度は、3つの林業事業体への支援を予定しています。

□ 事業内容

林業機械導入に要する経費を支援

林業事業体に対し、木材の伐採、搬出の効率化の推進に必要な林業機械の導入に要する経費の支援を実施。

【事業費】

20,236千円（全額譲与税）

【実績】

5事業体、5台

- ・ ダンプトラック 2台
- ・ ユニック付きトラック 1台
- ・ グラップル付バックホウ 1台
- ・ バケットグラップル（アタッチメント） 1台



（導入した林業機械）

□ 事業スキーム



令和3年度の森林環境譲与税の使途（普及啓発イベントの開催）

- ▶ 国産木材の需要の高まりから木材生産量の増加が期待される中、本県では、年々、林業従事者が減少しているため、林業の担い手の確保が課題となっています。
- ▶ そこで、林業技術の競技会であるSAGA伐木チャンピオンシップを開催することで、県内林業従事者の技術力向上の機会となるだけでなく、一般県民に対して林業の魅力を発信し、職業としての林業に対する理解を深めてもらうことができます。
- ▶ 令和3年度は、日本伐木チャンピオンシップ公式ルールに準じて4種目を実施し、30名の林業従事者が選手として参加し、技術を競い合い、安全意識の向上に繋がりました。
- ▶ 一般の方には、普段はあまり見られないチェーンソーを使った作業を見ていただくことで、技術力の高さや安全装備などの周知ができ、約1,300名の来場者に林業の魅力を発信できました。
- ▶ 次回は令和5年度の開催を予定しています。

事業内容

SAGA伐木チャンピオンシップ2021開催業務

【事業費】

4,780千円（全額譲与税）

【実績】

- ・ 開催日 令和3年12月5日
- ・ 来場者 約1,300名
- ・ 出場選手 9事業体、計30名



（競技の様子）



（併設イベント）

事業スキーム



←YouTubeにて
大会の様子をご覧いただけます。
ぜひご視聴ください！